

◎本ニュースレターは、木曽三川流域におけるエコロジカル・ネットワーク形成に関連する地域の取り組み情報を発信するものです◎

日差しが強くなり、夏の気配を感じる季節になってきましたね！暑くなると心配なのが熱中症。屋外だけでなく、室内でも起こる可能性があります。重症化すると命にかかわることもあります。正しい知識を身につけていれば防ぐことができます。暑い季節でも皆さんの活動は続くことと思います。熱中症を知り、熱中症対策を心がけて、元気に夏を乗り切りましょう！

〔岐阜県大垣市〕

2025年5月30日（金）

『エコツーリズムをテーマとした モニターツアー』を実施しました！

令和7年5月30日（金）に、エコツーリズムをテーマとしたモニターツアーを実施しました。

今回のテーマは「経済振興」。これまでエコネットワークの形成のため様々な環境保全活動をしてきた中で、活動の成果が地域にあまり還元されていないことが課題となっていました。現在取り組んでいる「木曽三川流域生態系ネットワーク第2期推進計画」では、成果の地域還元として学術、経済、文化の振興を目指すことを掲げています。

今回のモニターツアーでは、このうち経済振興に着目し、木曽三川地域のすぐれた自然環境やその保全活動を、観光資源として活用するにあたっての課題や実現性を把握する目的で実施しました。

当日は、岐阜県や沿川市の職員、旅行会社、はりんこネットワークの方々が参加し、晴れ間も見えるツアー日和となりました。

参加者からは「一つ一つが興味深く、貴重な機会であった」といった好意的な声が多く寄せられました。

その一方で、「地域に経済的な利益をもたらす仕組みづくりが難しい」といった意見や、「現時点では旅行商品として成立させるには課題が多い」といった指摘も見られました。

今後に向けて、地域の魅力やさまざまな体験活動に、どのような付加価値をつけ、地域資源として磨き上げていくか、といった課題がありそうです。



曾根城公園

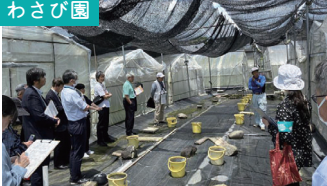


▲午前は、曾根町ハリヨ・ホタル保存会から、保全活動や地域の歴史、水害対策などについて幅広く説明いただきました。

大垣駅南口

曾根城公園・わさび園

わさび園



▲わさび園にて豊富な湧水を活用したわさび栽培について学び、特産品の買い物体験を行いました。

▲丸の内公園にてかわまちづくりの一環であるキッチンカーイベントに参加しました。

丸の内公園（昼食）

水まんじゅう作り体験

ハリヨ池



▲午後は加賀野名水保存会のガイドでハリヨ池を見学。見学後「利き水体験会」を実施し3種類の水を飲み比べました。軟水である大垣の水の口当たりのやさしさを感じました。

加賀野八幡神社

意見交換



▲最後の意見交換では、各訪問地で感じたことをもとに、参加者の皆さんに発表していただきました。

お疲れ様でした！

▲大垣市の活性化・菓子文化を提案する複合施設「船町ベース」で、水まんじゅう作りを体験しました。

〔愛知県一宮市〕

2025年5月18日（日）

同日に起ワンドにて開催された「第17回 木曽川合同パトロール」に参加！ 『起連区三世代交流木曽川ウォーキング大会』を開催しました！

一宮市の起連区では、2022年から毎年5月に起三世代ウォークを開催しています。起渡船場があった金刀比羅社を出発し、木曽川河川敷の遊歩道を歩き、一宮市尾西歴史民俗資料館を経由して、起ワンドをめぐるウォーキング大会です。

同日、起ワンドでは「第17回木曽川合同パトロール」も開催され、国土交通省木曽川上流河川事務所や環境省中部地方環境事務所の方々から、木曽川の変遷や生息する魚類、特に国の天然記念物であり絶滅危惧ⅠA類のイタセンパラの生態についてのお話があり、起三世代ウォークの参加者も熱心に聞いている様子でした。毎年100人以上が参加しており、今年は158人の参加がありました。イタセンパラの生息地である起連区の皆さんが、木曽川やそこに生息するイタセンパラをはじめとした魚類に興味を持ってくださることは、たいへん嬉しいことです。

これからも、三世代交流木曽川ウォーキング大会が続いていくことを願っています。

一宮市博物館様より
活動報告です！

出発地点となる起
渡船場の正統6年
（1917）の様子



▲合同パトロールでイタセンパラの説明を聞く起三世代ウォーキング参加者の様子

暮らしを変えて未来に夢をつなぐ 「環境SDGsおおがき未来創造 フェスティバル2025」を開催しました！

令和7年3月15日（土）に、『環境SDGsおおがき未来創造フェスティバル2025』をソフトピアジャパンで開催しました。このイベントは、環境をテーマに楽しく学び、実践へつなげてもらうために、大垣市環境市民会議と大垣市が実施しました。

地元の高校生たちが、環境SDGsについて1年間学び、考えた成果の発表では、企業などと協力して取り組んだことや研究した内容などを報告しました。また、環境保全などに寄与した市民や企業への「市民環境賞」の表彰式や、「グリーン電力証書」の交付も行われました。

当日は、41の団体、企業様にご出展いただき、来場者の皆さまには環境への意識を高めてもらえる一日になったのではないかと思います。



▲ゲームを通じてSDGsを体感的に学ぶ「2030 SDGsカードゲーム」



▲牛乳パックを利用した紙すきハガキ作り体験ワークショップ



▲企業の取り組み紹介、NPO法人の活動報告、高校生による研究発表など、多岐にわたるテーマに取り組む41の団体が出展しました。

企画内容

スタンプラリー 4つのゾーンを回るスタンプラリー（スタンプラリー終了者はビンゴ大会へ参加）
展示とワークショップ 出展団体・企業が、各ゾーンにおいて展示、ワークショップ実施
環境プロジェクトゾーン ハリヨ、ホテル保護活動紹介、ダンボールコンポスト展示など
体験コーナー マーブルクレヨン、カードコール作り会など

私たち環境市民会議は、ステージにてダンボールコンポストに取り組んでいる2組の方にインタビューを行い、感想などをお話いただきました。環境保全に対する意識の高さを実感でき、スタッフも胸が熱くなりました。

また、牛乳パックから紙すきハガキを作る体験ワークショップでは、紙資源の再利用を体感していただいたほか、各種コンポストの紹介も行いました。

全体を通しては、さまざまなブースでお子さまが楽しく環境について学ぶ姿が見られ、スタンプラリーやビンゴゲームを通じて、少しでも皆さまの学びとなる一日になったのではないかと感じております。ご来場いただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。



はじめまして！

新加入団体のご紹介

岐阜県立羽島高等学校



なまずコップ完売しました！

岐阜県立羽島高等学校では、令和3年度から3年次の選択科目「課題研究」でイタセンパラの保護活動をしています。

令和6年度の主な活動は、岐阜メモリアルセンター長良川競技場で、FC岐阜の試合前に、羽島市にあるコッペ亭や兎月園とのコラボ商品の販売実習を行い、200個すべて完売できました。商品のラベルには、QRコードを貼り、イタセンパラの紙芝居を見ることができた工夫をしました。

また、FC岐阜の選手と一緒に羽島市立正木小学校を訪問し、5年生にイタセンパラを知ってもらうための出前授業を行いました。さらには、本校で高校生SDGs水環境サミットを開催し、岐阜県内外から9校45名の生徒が参加して、各校の研究発表とグループ討議を行いました。この活動の様子は、テレビ東京の番組「田村淳のTaMaRiBa」で紹介され、現在、羽島高校のホームページから視聴することができます。

今年度は、販売実習や出前授業を計画中です。エコネット応援団の皆さまには、今後ともご指導をよろしくお願いいたします。

！ぜひご覧ください！
SNSで
情報を発信中！



Instagram



https://www.instagram.com/kiso_econet/



Facebook



<https://www.facebook.com/kisosanseneconet/>



木曽三川流域生態系ネットワーク推進協議会（事務局：国土交通省木曽川上流河川事務所）は、川とともに育まれてきた流域の自然や文化を保全・活用し、地域の魅力を向上させるとともに、人と自然・人と人との絆を深めることを目的とし、流域の市民団体・自治体・有識者・河川管理者等によって、平成26年度に設立されました。

本協議会では、木曽三川流域において、自然環境を保全・再生・創出してつなげる「生態系ネットワーク形成」に関連する活動を行う（または賛同する）、地域のさまざまな団体等に参加していただく「木曽三川流域エコネット応援団」を結成しています。応援団の皆さんの活動に関する情報共有を図ることにより、地域の交流・協働を促進し、取り組みのさらなる発展を目指していきます。

「木曽三川流域生態系ネットワーク」
ホームページ

ニュースレターのバックナンバーはこちらから↑
<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojo/econet/index.html>

木曽三川流域エコネット応援団 事務局：国土交通省 木曽川上流河川事務所 流域治水課（岐阜県岐阜市忠節町 5-1）

【問い合わせ先】木曽川上流河川事務所 流域治水課 e-mail: cbr-kisojo-choa@mlit.go.jp / tel: 058-251-1125